



浅間山麓

未来への遺産

Vol.79

最古の 狩人の足あと

石で作られた12,000年前のヤリ先 (川原田遺跡、実物大)

浅間山麓、美しい御代田の大地に人類が足を踏み入れたのは、いったいいつの事だったのだろうか。

平成2年、その証拠が真桑寺東にある川原田遺跡から発掘された。写真にある1本の石ヤリの先で、八風山の安山岩というねずみ色の石で作られていた。年代は、今から1万2千年前のものとみられ、御代田町最古の人類遺物である。大きさは7センチほど、先端は、鋭く尖り、刺さりやすいように細工が施されていた。

その石ヤリをもった狩人は、獲物を追って浅間山麓を深く分け入ったのだろうか。当時は寒冷な氷河時代の終わりであり、現在より5℃以上気温が低かった頃である。御代田の森には落葉広葉樹でなく、トウヒなど針葉樹が茂っていたとみられる。

ナウマンゾウやオオツノシカなど日本列島に生息していた大型獣も、2万年前頃までには絶滅、シカやイノシシなどが狩の対象となった。

気の遠くなるような大昔、御代田に足を踏み入れた狩人は、1か所かに定住せず、移動生活をライフスタイルとしていた。



川原田遺跡(塩野)

企画展

氷河期を生き抜いた狩人

12月6日(土) ~ 12月24日(水)

(広告欄)

www.minebea.co.jp

ミネベアの強さと特色... その4

成長市場の開拓

ミネベア製品は各時代に成長拡大を続けた市場に欠かせない部品として需要の増大を続けて来ました。

NMB Minebea
ミネベア株式会社

●本社・軽井沢工場 / 〒389-0293 北佐久郡御代田町大字御代田4106-73
TEL.0267-32-2200 FAX.0267-31-1350 http://www.minebea.co.jp

ミネベアの主力製品は、「情報通信機器・OA機器市場」、「家電市場」、「航空機市場」、「自動車市場」向けに数多く使用される精密機械加工部品です。創業当時はミニチュア・ボールベアリング専門メーカーとして、主な市場も航空機用の計器類などに限定されていましたが、70年代のVTRや家電、80年代のOA機器、90年代のパソコンなどを中心とした市場の拡大や高性能化のニーズに合わせて、ボールベアリングや小型モーターを中心としたミネベアの精密機械加工品への需要は大きく伸びました。これらの市場は今後も引き続き拡大が見込まれますが、更に、自動車業界において省エネルギー、安全性、快適性の要求に対応するための高性能モーターや高度な制御用センサーの需要が増大傾向にあるため、携帯電話やモバイル機器、デジタル家電製品といった今後、更に成長を続ける市場においても、ミネベアの競争力である精密加工技術と大量生産技術は大いに生かされます。



みよた広報やまゆりは、環境保全のため、大豆油インキを使用しています。